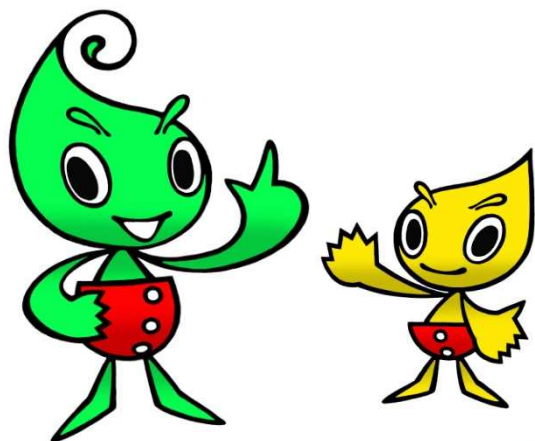


第4回 食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会

2016年12月13日

日本プラスチック食品容器工業会



専務理事 鶴田雅文

目次

1. 日本プラスチック食品容器工業会の沿革
2. 日本プラスチック食品容器工業会の概要
3. プラスチック食品容器業界の食品安全に関する取り組み
4. PL制度導入についての意見・要望



日本プラスチック食品容器工業会の沿革

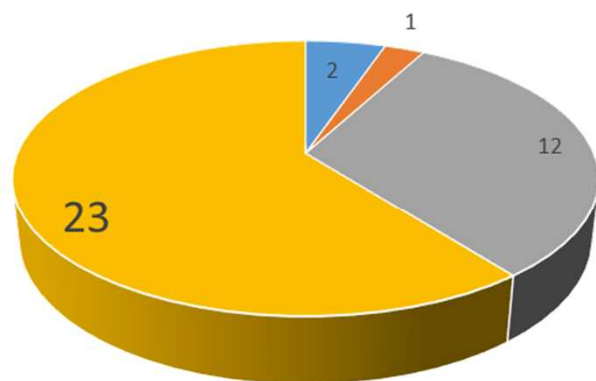
- 昭和52年10月 PSPトレー等の食品容器を成形加工する業者が集まり「ポリスチレンペーパー成型加工工業組合」として発足。
- 平成20年頃よりPSP以外のプラスチック素材の生産がPSPを大きく上回る状況となったため、平成21年5月、PSP以外の素材を成形加工する業者の団体である「食品容器成形懇話会」を吸収統合。この時名称も「全国プラスチック食品容器工業組合」に変更。
- 平成25年5月 工業組合を解散し、「一般社団法人日本プラスチック食品容器工業会」として新たにスタート。

日本プラスチック食品容器工業会の概要

- 会員企業数 : 正会員32社、準会員6社、特別会員8社
- 会員売上高 : 約6,000億円
- 会員出荷量 : 491千トン(平成27年度)
- 事業内容 : プラスチック食品容器の製造・販売
- 資本金 : 3社が20億円以上(うち、100億円以上、50億円以上がそれぞれ1社)、23社が1億円未満の全体としては中小企業の集まり
- 従業員数 : 3社が1,000名以上、25社が300名未満

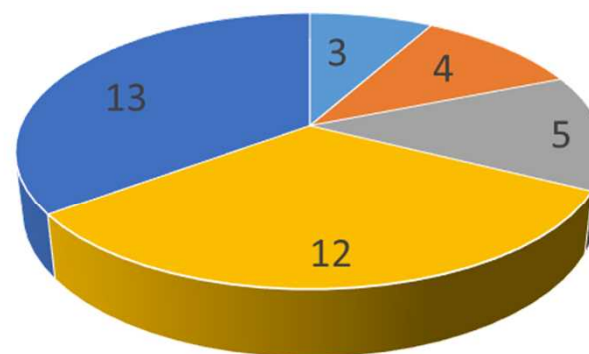
○ 資本金、従業員別内訳

資本金別



■ 50億円以上 ■ 20億円以上 ■ 1億円以上 ■ 1億円未満

従業員別



■ 1,000名以上 ■ 500～999名 ■ 300～499名
■ 100～299名 ■ 100名以下

○ 工業会の活動内容(1)

- ・小学校、中学校等への出前授業
 - － 環境に係る授業、真空成形機の実演
- ・環境に係るイベント(エコメッセ、SAITAMA環境フェア等)での啓発事業
- ・企画調整、技術、広報の3つの委員会活動
- ・HP等での啓発事業：<http://www.japfca.jp>



出前授業(小学校)



出前授業(中学校)

○ 工業会の活動内容(2)



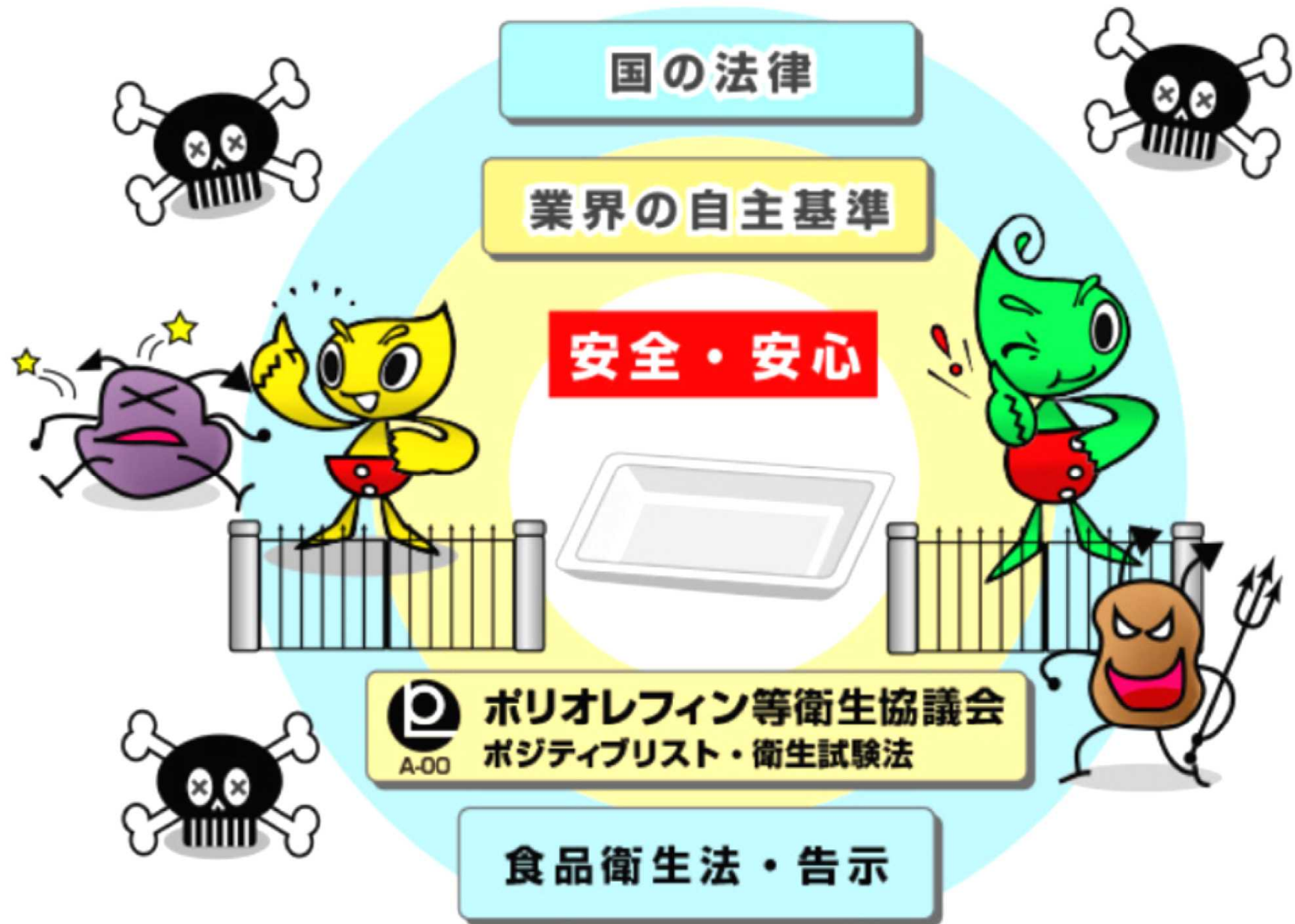
千葉県エコメッセ

SAITAMA環境フェア

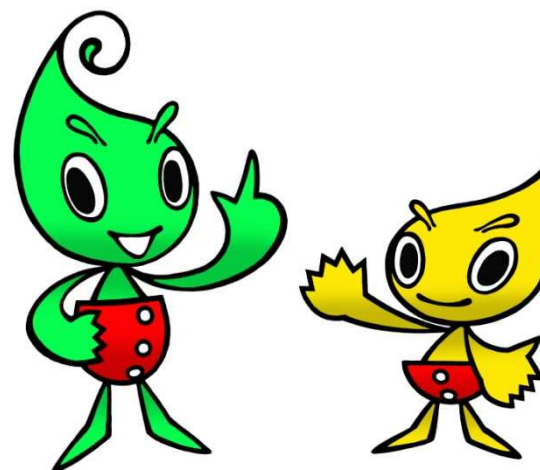
食品安全に関する取り組み

- 当工業会会員は、殆どがポリ衛協の会員となっており、ポリ衛協の自主規制のシステムに則った事業活動を行っている。
- また、当工業会の中小企業の原材料については、シート等を購入し、二次加工として生産を行うところが多く、シート等の原材料メーカーの確認証明書は機能しているところ。
- 当業界のB to Bの取引においては、食品メーカーそれぞれからの衛生管理、品質管理等の取引基準に沿って対応している状況にある。

○ 安全に関するスタンス



○ PLマーク

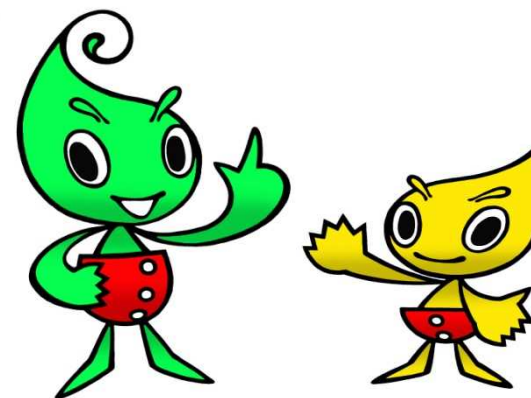


PL制度導入についての意見・要望(1)

- (1) 当業界はこれまでも食品衛生法に則り、かつ、ポリ衛協によるサプライチェーン全体をカバーする自主基準に沿って対応してきているところである。
- (2) 本システムは当業界に浸透定着しているところから、当該自主的PL制度を活用していくことが現実的な取り組みに通じるものと考えるところ。
- (3) 欧米においてはGMPに則った制度が構築されているが、仮に、我が国においてもこのような制度の導入が検討される場合、事業者への過度の負担、混乱が生じることは避けるべきと考える。

PL制度導入についての意見・要望(2)

- (4) 当工業会としては、厚労省が現在とりまとめている「自主管理ガイドライン(案)」を踏まえた、当工業会としての手引きあるいは説明書といったものを整備することを検討している。
- (5) こういった対応により、安全かつ衛生的な製品の供給が実現していけるものと考えている。



ご清聴ありがとうございました。

